

0603_city hall

報 勲

永年の消防活動に功績

豪雨災害時の消防活動指揮
古澤志喜男元団長に瑞宝単光章

旧波野村消防団員として入団以来、44年の永きにわたり消防活動に尽力し功績があったとして、古澤志喜男氏が瑞宝単光章を受章しました。

古澤氏は、昭和44年に旧波野村消防団に入団し、町村合併後の平成19年には副団長、平成21年に消防団長を歴任。平成24年の九州北部豪雨では、全団員を招集し避難誘導活動や行方不明者捜索の指揮を執るなど、持ち前の統率力で被災者救援に尽力しました。

6月3日、市役所に受章報告に訪れた古澤氏は「今回の受章は皆さまの後押しがあったからこそ。団員の皆さんには怪我なく住民のために尽力してもらいたい」と語りました。



受章報告に訪れた古澤氏（右）



0606_aso city

わだい

健脚競い、阿蘇外輪駆ける

第25回阿蘇カルデラスーパーマラソン
大会最多1685人が挑戦



50kmの部で波野支所前をスタートする参加者

九州屈指の難コースを駆け抜ける第25回阿蘇カルデラスーパーマラソン大会（阿蘇郡市町村主催）が6月6日、100kmの部と50kmの部で行われ、ゴールの総合センターを目指し健脚を競いました。

ことしは大会最多となる1685人が出場。100kmの部は南阿蘇村総合福祉温泉センター、50kmの部は波野支所をそれぞれスタートし、新緑の阿蘇外輪をそれぞれのペースで走りました。5km間隔に設置されるエイドステーションには、特産のそばをはじめとした多彩な食材が振る舞われ、ランナーの疲れを癒しました。

0608_city hall

わだい

牛乳飲んで元気に！

父の日に合わせ牛乳を市長に
大阿蘇酪農組合女性部が毎年キャンペーン

大阿蘇酪農組合女性部（井ゆかり部長）が6月8日、市役所を訪れ、牛乳販売促進の一環として、父の日にちなみ市民のお父さんを代表して佐藤市長に牛乳を贈りました。

「父の日には牛乳を贈ろう」と題し、同組合が毎年販売を展開しており、ことしも市役所のほか、市内各所でキャンペーンを行いました。

同組合では、世界農業遺産に認定された阿蘇の草原維持と持続的農業を応援する取り組みとして、くまモンのイラストが入った牛乳を昨年7月から販売。売り上げの一部は阿蘇世界農業遺産基金に寄付され、農業や地域の活性化に利用されています。



佐藤市長と宮川副市長に牛乳を贈る酪農組合女性部の皆さん。（写真右手前は井部長）



0524_uchinomaki

ニュース

九州北部豪雨災害を教訓に避難訓練

内牧で初めて実施
280人が参加し大雨対策確認

内牧地区で5月24日、大雨による河川の氾濫を想定した避難訓練が行われ、105世帯159人の住民のほか、消防団や地域婦人会など合わせて約280人が参加し、梅雨を前に大雨への対策を確認しました。

この避難訓練は、平成24年の九州北部豪雨災害を教訓に、人的被害を防ごうと災害の翌年から市が毎年行っているもので、北部豪雨で浸水被害の多かった内牧地区の黒川南岸を対象に実施。避難場所



①消防団員が地域を巡回。住民を誘導し避難を促す。家入靖幸分団長は「消防団の一連の行動は、滞りなく実施できた。今回の訓練で防災の取り組みのきっかけになったと思う」と振り返った。



②消防署員の指導により心臓マッサージの訓練に臨む参加者。



③資料を手手に講演会を熱心に聞く市民の皆さん。

わだい

0525_city hall

ロアツソ熊本が表敬訪問

ロアツソ熊本発足10年
まちづくり支援プロジェクトに阿蘇市へ3選手



ロアツソ熊本の選手らが5月25日、市役所を表敬訪問し、市職員と一の宮中学校サッカー部の生徒が出迎えました。

ロアツソ熊本は、ことしクラブ発足10周年を迎え、日本一地域に根ざしたクラブをつくろうと、選手らが県内の各地域の住民らと交流しまちづくりを支援する「火の国もりあげタイ！プ



〔写真上〕右から高柳一誠選手、キムビョンヨン選手、吉良経済部長（その他鈴木翔登選手が担当）

〔写真左〕市役所玄関で選手を出迎える一の宮中学校サッカー部

プロジェクト」を昨年からはじめ、阿蘇市は高柳一誠選手ら3名が担当となり、市のPR活動などに取り組みます。

クラブを運営する株式会社リートクラブ熊本の池谷友良代表取締役社長は「この事業を通じ、県民とより深い絆を結んでいきたい」と話しました。

0602_city hall

ニュース

4 小学校の絆をイメージ 一の宮小の新しい校章決定！ 井口靖久さんのデザインを採用

《デザインコンセプト》（最優秀賞：井口さんのコメント）



統合する4小学校の貴重な歴史や伝統、勉学・スポーツ・芸術・文化のあらゆる情報交流発信の“絆”と役割をイメージデザイン化し、親の温かい愛情に包まれ、心豊かな自然に抱かれたエコ環境に、やさしい学び舎と生き生き共生し、児童の大きな“夢や希望”に向かって更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気あふれる「一の宮小学校」の姿をアピールしています。

来年4月に開校予定の一の宮小学校の校章募集に、全国から36点の応募があり、6月2日に行われた審査の結果、井口靖久さん（群馬県高崎市）の作品が最優秀賞となり、新デザインに採用されました。

次点の優秀賞には駒井瞭さん（大阪府東大阪市）ほか1名が選ばれました。



0607_narukawa

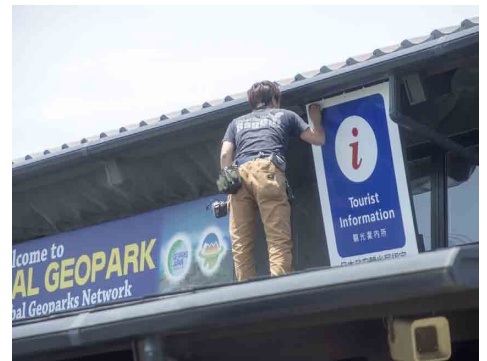
ニュース

英語で充実した観光案内

日本政府観光局が道の駅阿蘇を「外国人案内カテゴリー2」に認定 道の駅としては全国初認定！

日本政府観光局は3月31日、英語で対応可能なスタッフが常駐し、観光や交通情報の提供ができる施設（外国人案内所認定カテゴリー2）として、道の駅阿蘇を認定しました。全国の道の駅では同駅が初認定となります。

同駅には昨年1年間に約128万人が訪れ、うち外国人観光客も約2500人が来館。駅内に設置する総合案内所に6人の職員らが常駐し、英語のほか中国語やフランス語、バンングラディッシュ語で対応しています。外国人観光客は特に阿蘇中岳に関する質問が多く、昨年5月に開設した阿蘇火山コンシェルジュと連携しながら、観光案内とともに阿蘇の魅力をアピールしています。



道の駅の屋内外に設置された看板（右）

0503_nakadori

わだい

阿部コト作の地蔵尊を訪ねる

大分県から阿部氏の縁戚来訪
点在する地蔵尊を文化財保護委員らと見学



現地見学のようす

一の宮町中通の真光寺で5月3日、明治後期から昭和にかけて番衛人（番をする人）として同寺に着任していた阿部コト氏の墓参りに、出身地の大分県日出町から縁戚の方々が来訪しました。

阿部氏は、明治40年に着任以来、昭和8年に亡くなるまでに眠り地蔵や橋地蔵、頭巾地蔵などを製作。その数は把握しているだけで49体に及び、現在も阿蘇市内に点在、価値のある文化財として保存されています。

当日は、文化財保護委員や地元関係者なども同行し、墓参り後に各地にある地蔵尊を見学。縁戚の方々も、地元住民が真光寺や地蔵尊をきれいに管理していることに感謝していました。

0510_amakusa

表彰

地域婦人会県内最多入会数で表彰

第65回熊本県地域婦人会大会 地域婦人会阿蘇支部が会員増強賞



表彰状を受け取る桑木部長（右）

第65回熊本県地域婦人会大会が5月10日、天草市で開かれ、阿蘇市地域婦人会阿蘇支部（桑木邦子部長、48名）が、会員増強賞を受賞しました。

同支部は、日頃から地域の防災訓練時の炊き出しや学校の体験活動などに取り組んでおり、会員数も昨年度から26人増え、県内婦人会の中でも最も多くの会員が入会し、活動を展開しています。

桑木部長は「今後も会員増を目指し、阿蘇市地域婦人会の活性と地域の発展に努めていきます」と受賞の喜びを語りました。



0607_kurokawa

わだい

走って、飛んで、投げて。

第3回ちびっ子とお母さんの陸上交流会 母子120人が楽しむ

陸上競技を通じて母子の絆を深めてもらおうと同協会が昨年「走る」「跳ぶ」「投げる」の3つの競技が行われ、母子で楽しみながらそれぞれの競技で汗を流していました。

井野会長は「母親、子ども同士の交流を深めてもらうと同時に、陸上競技に興味を持ってもらえれば」と話していました。

第3回ちびっ子とお母さんの陸上交流会（阿蘇市陸上競技協会（井野優会長）が6月7日、農村公園あびかで開かれ、幼児から小学3年生までの子どもと母親約120人が参加しました。



テニスボールを投げて、距離を計測。ちびっ子もお母さんも頑張りました。



0615_city hall

ニュース

マイナンバー運用適切に

来年1月からいよいよスタート 市職員が事前に研修



小川氏（左）の説明受ける市職員

来年1月から運用が始まるマイナンバー制度（社会保障・税番号制度）を前に、市は6月15日から2日間にかけて、全職員を対象に個人情報保護に関する教育研修を行いました。

株式会社ぎょうせいの小川清水氏が、マイナンバー制度の運用方法や個人情報の取り扱いについて講演。「個人情報の取り扱いは、これまでに比べさらに厳しくなることを認識して運用してほしい」と話しました。

制度運用に関し、佐藤阿蘇市長は「特定個人情報などの漏えいリスクを軽減させるため、適切な措置を講じプライバシー保護に取り組む」と宣言しました。